



The 8th Annual Scientific Meeting of the NO Society of Japan

# 第8回日本NO学会学術集会

2008年5月9日(金)・10日(土) 会場：仙台国際センター

会長 下川 宏明

東北大学大学院医学系研究科 循環器病態学分野

- 開催概要
- 会長挨拶
- 参加者へのご案内
- プログラム
- 日程表
- 演題応募
- YIA(TA) 応募
- 会場案内
- 宿泊案内
- 関連リンク
- お問い合わせ

## 最新情報

- new 2007/03/31 ご案内・プログラムを掲載しました。
- new 2007/03/21 日程表を掲載しました。  
宿泊案内を公開しました。
- 2007/01/31 一般演題演題登録を締め切りました。  
多数のご応募をありがとうございました。
- 2007/01/24 演題募集期間を2008年1月31(木) まで延長いたしました。
- 2007/12/04 演題募集を開始しました。  
プログラムページを更新しました。
- 2007/11/12 ホームページを公開しました。

## 主催事務局

東北大学大学院医学系研究科 循環器病態学分野

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

TEL : 022-717-7152

FAX : 022-717-7156



The 8th Annual Scientific Meeting of the NO Society of Japan

# 第8回日本NO学会学術集会

## 開催概要

- 会長挨拶
- 参加者へのご案内
- プログラム
- 日程表
- 演題応募
- YIA(TA) 応募
- 会場案内
- 宿泊案内
- 関連リンク
- お問い合わせ
- HOME

## 開催概要

会 長 :	下川 宏明
会 期 :	平成20年5月9日(金) 10日(土)
会 場 :	仙台国際センター 宮城県仙台市青葉区青葉山(無番地)
事務局 :	東北大学大学院医学系研究科循環器病態学 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 TEL:022-717-7152:FAX 022-717-7156 E-mail:nosj2008@convention.co.jp
運営事務局 :	〒980-0824 宮城県仙台市青葉区支倉町4-34丸金ビル6階 日本コンベンションサービス株式会社東北支社 TEL : 022-722-1311 FAX : 022-722-1178 E-mail:nosj2008@convention.co.jp



The 8th Annual Scientific Meeting of the NO Society of Japan

# 第8回日本NO学会学術集会

- 開催概要
- **会長挨拶**
- 参加者へのご案内
- プログラム
- 日程表
- 演題応募
- YIA(TA) 応募
- 会場案内
- 宿泊案内
- 関連リンク
- お問い合わせ
- HOME

## 会長挨拶



第8回日本NO学会学術集会（平成20年5月9-10日、仙台国際センター）を担当させていただくことになりました。皆様にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本学会は急速に発展するNO研究に関して、異なる分野の研究者が一同に会し、幅広い学術交流や情報交換の機会を提供することを目的に平成12年5月に設立されました。

第1回学術集会は平成13年5月竹下彰九大教授（循環器内科学）が担当され、その後、毎年1回の割合で学術集会を開催してきました。会長は、第2回（平14）長野哲雄東大教授（薬学）、第3回（平15）前田浩熊大教授（微生物学）、第4回（平16）谷口直之阪大教授（生化学）、第5回（平17）野村靖幸北大教授（薬学）、第6回（平18）平田結喜緒東京医科歯科大教授（内分泌学）、第7回（平19）岡村富夫滋賀医大教授（薬理学）が担当され、臨床系と基礎系の研究者がほぼ交互に会長を担当することで行われてきました。特に平成16年は第3回国際NO学会との共同開催となり、谷口教授が会長、横山光宏神戸大教授（循環器内科学）が副会長を務められ、世界各地からNO研究者が一同に会し、充実した学術集会になりました。

私は、赤池孝草現副理事長と共に本学会の設立に参加し、また、第1回学術集会では竹下会長の下で事務局長を務めたこともあり、今回、第8回の学術集会を開催させていただきますことは大変感慨深いものがあります。この8年の間にNO研究はわが国でも活発に行われ、基礎・臨床の多くの分野から重要な知見が世界に向けて発信されてきました。

第8回の学術集会も例年同様、2つの基礎系のシンポジウム、2つの臨床系のシンポジウム、NOフォーラム等を企画しており、さらに、特別講演には、海外から、ノーベル賞受賞者のIgnarro教授（UCLA）をはじめ、Vanhoutte教授（香港大学）、Michel教授（ハーバード大学）らの参加を予定しております。


本学術集会におきましてNO研究の最新の知見の発表や情報交換等が活発に行われ、わが国のNO研究がさらに発展することを願っております。多くの皆様のご参加をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

下川 宏明

東北大学大学院医学系研究科 循環器病態学分野

5月9日（金）・10日（土）に、第8回日本NO学会学術集会を仙台国際センターで主催いたしました。

NO（一酸化窒素）研究の最新の知見の発表や情報交換などを活発に行うことができました。海外からIgnarro教授（UCLA）、Vanhoutte教授（香港大学）、Michel教授（ハーバード大学）、Eaton先生（St Thomas病院、ロンドン）に、NO発見の話から、生理学的役割、心血管病への寄与に関し、ご講演いただきました。また当科研究員・高木文が YIA(Young investigator Award)を受賞しました：「内皮依存性過分極反応における一酸化窒素合成酵素系の重要な役割」。

>>詳しくはこちらから 



Ignarro教授（UCLA）



Vanhoutte教授（香港大学）



Michel教授（ハーバード大学）



Eaton先生（St Thomas病院、ロンドン）



YIA受賞の高木文先生



下川会長とYIA受賞者

## 第8回日本NO学会学術集会

2008年5月9日(金)・10日(土)の2日間、仙台国際センターで第8回日本NO学会学術集会が開催されました。本学術集会では200名の参加者を迎え、NO研究の最新の知見の発表や情報交換などを活発に行うことができました。

特別講演では、海外からノーベル賞受賞者の Ignarro 教授 (UCLA)、Vanhoutte 教授 (香港大学)、Michel 教授 (ハーバード大学) に、NO 発見の話から、生理学的役割、心血管病への寄与などに関し、ご講演いただきました。さらにシンポジウムの1つは、本学会に理事として多大な貢献をされ、昨年残念ながら他界されました吉村哲彦先生追悼シンポジウムとさせていただきます。この時には吉村先生のご家族にもご参加いただき、これまでの吉村先生のNO研究の足跡について、ご縁の深かった小澤俊彦先生、古武弥成先生、長野哲雄先生から吉村先生の思い出やご業績を頂戴し、吉村先生の門下生として山形からはばたかれた、藤井敏司先生、藤井浩先生から当時の研究とその継承研究についてご講演いただきました。他の3つのシンポジウムでは活性酸素種の循環器系疾患における生理的役割、NO研究におけるバイオマーカーとNOと炎症性疾患について、非常に活発な意見交換がございました。最後に行われましたNOフォーラムでは血管内皮・NO研究の最新知見として、Vanhoutte 教授、Michel 教授、Eaton 先生 (St Thomas 病院、ロンドン) にご講演を受け賜りました。

また本学術集会では3名のYIAが選出され、閉会式の前にYIA授賞式が行われました。最優秀YIAに産業医大の中田靖先生「NO合成酵素完全欠損マウスに惹起された自然発症心筋梗塞」が選出され、東北大学循環器病態学の高木文先生「内皮依存性過分極反応における一酸化窒素合成酵素系の重要な役割」、東北大学腎高血圧内分泌科の阿部倫明先生「高糖状態によるメサングウム細胞の予備暴露はアンジオテンシンII刺激による参加ストレスを増強させた」の2名が優秀YIAを受賞されました。

本学術集会はNO研究という観点から多分野にわたる研究者が集まるユニークな集会で、非常に活発で有意義な会でした。今後のNO研究の更なる飛躍が期待されます。